

河川愛護月間関連行事

野川のちびっこ先生あつまれ ～小学生による「野川の通信簿」～

去る7月7日、昨年に引き続き、小金井市内を流れる野川において、『野川のちびっこ先生あつまれ！～小学生による「野川の通信簿」』が行われました。野川流域在住の市民によって構成されている野川流域連絡会が主催し、地元の小学校・市民団体・地元住民及び行政との連携・協働によって実施しました。目的は、小学生が水質や植物などの野川の状況を通信簿として観察・記入することを通じて、野川に親しんでもらうこと。また、野川の環境を良くするために、この結果を市民の取り組みや自治体の施策に生かしていくことです。



参加者は、小金井市立南小学校の6年生83名、教頭先生をはじめ先生4名、また、スタッフとして野川流域連絡会からの20名に、防災ボランティア4名、都職員14名が加わり、総勢125名でした。

生徒たちの観察・観測の対象として、水質及び水量測定、植物観察、水生生物観察、野鳥観察の4つを予定していましたが、野川に水が流れていなかったため、水量測定が出来ないので、水質測定と水生生物観察を野川第一調節池内にある「どじょう池」で行いました。それぞれの観察・観測では、流域連絡会のメンバーが生徒たちの興味を引くような話や実際に道具を使用しての観測を行いました。

当日は、強い日差しが照りつけるとても暑い日で、水分補給や休憩をとりながらの活動となりましたが、生徒たちは夢中で観察に取り組んでいました。活動の最後に、「楽しかったですか？」と生徒に尋ねたところ、一斉に「楽しかった！」と答えが返ってきたのが印象的でした。

今後も、この活動を野川流域連絡会及び学校と協力して行っていく予定です。



水質測定は慎重に



鳥はいるかな・・・